

# 自衛官募集

# 名簿提供問題を追及

井上議員 参院外交防衛委

井上哲士参院議員は26日、参院外交防衛委員会、自衛官募集のための市町村からの名簿提供の問題を取り上げました。

自衛隊は市町村に対し、法定受託事務として、紙媒体等での自衛官適齢者名簿の提出を求めます。防衛省は、これは「依頼」であり、応えるかどうか市町村の判断だとしています。自治体が応えない場合、自衛隊は、住民基本台帳を閲覧して対応しています。

ところが、昨年末、自衛隊高知地方協力本部が高知市に対し、市民基本台帳の閲覧を求めたことについて、



井上議員

ついて、「法定受託事務が執行されていない」として「従来の方針を変更し強く適齢者情報の提供を求めるとする文書を提出。市民の反発も広がり、地元マスコミも大きく取り上げました。」

中谷防衛相は、あくまで「依頼」であり、対応は自治体の判断だという立場を繰り返し、高知市に対する文書について従来の防衛省の立場と異なる不適切なものだったと表明し、高知市長にも謝罪したことを明らかにしました。

井上氏は、2013年11月に開かれた自衛隊の採用・援護担当者会議に提出された資料を示し、同会議で、「法定受託義務の適正化」「自治体への働きかけ（あるべき姿の共有）」が強調されていることを告発。「高知市での出来事はこの会議の

内容に沿ったものではないか」「防衛相の答弁と違う内容が自衛隊内部で行われている」と迫りました。防衛省の真部人事教育局長は「不適切な表現だった」と認めました。井上氏はさらに、新潟県では昨年、現行法令に違反し、中学3年生の名簿提供を市町村に要求していたことを指摘。真部局長は全国21県で同様の要求をしていたことを明らかにしました。

◇中学生の名簿提出を市町村に要求していた自衛隊地方協力本部  
札幌、旭川、函館、帯広、岩手、宮城、山形、福島、栃木、埼玉、新潟、長野、奈良、兵庫、山口、香川、佐賀、長崎、大分、宮崎、鹿児島、21地方協力本部  
※井上議員への提出資料から作成

## 県議・政令市議選 国会議員・党幹部 3、4日の主な予定

◇4月3日(金)

- 本村議員 9:30 名古屋市緑区 11:30 春日井市 14:00 小幡駅 14:45 市営猪子石荘 15:30 本山駅 17:30 一宮市
- 島津議員 9:00 浜松市中区、静岡市葵区、駿河区
- 井上議員 8:30 津市、四日市市、17:10 名鉄岐阜駅
- 佐々木元議員(名古屋市) 10:00 西区 10:15 北区・ダイエー 11:15 東区大曾根メッツ、中区

◇4月4日(土)

- 志位和夫委員長 12:30 静岡市(静岡銀行呉服町支店向かい) 14:30 浜松駅北口広場 16:00 豊橋駅東口
- 本村議員 11:00 津市 13:00 四日市市 16:30 伊勢市
- 島津議員 静岡市葵区
- 井上議員 16:30 中村区 17:10 熱田区 19:00 中川区演説会



島津議員

島津幸広衆院議員は27日、衆院環境委員会、愛知県新城市で愛知県企業庁が造成する工業団地に産廃処理業者が進出しようとして地元で大きな反対運動が起きている問題にかかわって、肥料の名で産廃が不法投棄されているとの実態を示して、国の対応を求めました。

「これが肥料の一般的な使い方かといただきました。農水省の池田官房審議官は「こういった高さに積み上げることは一般的には想定していない」と答えました。島津氏は、悪質な廃棄物処理業者を適切に処分するために出された環境省の通知(「行政処分の指針」)にある「排出が必要に沿った計画的なもの」という基準にも抵触していると指摘。「問題の事業者は10年前に静岡県内で『肥料ではなく産廃を畑に埋めた』として撤去の行政指導を受けている。国は、登録事業者が適正にリサイクルを行っているかを把握する監督責任がある」と迫りました。これに対し、望月義夫環境相は「県とも連絡を密に取り、必要な助言をしていきたい」と答えました。

# 肥料の名で産廃投棄 実態告発

島津議員 衆院環境委